

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: IT文京株式会社

訓練実施施設名: IT文京 オンライン校

問合せ先住所:

〒 5 8 2 - 0 0 0 9

大阪府柏原市大正2丁目1-10

問合せ電話番号: 080-5965-9714

■土日祝日訓練の有無:

 全日あり / 一部あり / なし

■法定講習に係る補講:

 あり なし / 有料 無料

■相モデルによる訓練:

 あり なし

■合同開催による訓練:

 あり なし

訓練の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 実践コース (20 その他の分野)			就職を想定する職業・職種					
	<input type="checkbox"/> 職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	<input type="checkbox"/> 託児サービスコース	<input type="checkbox"/> 短時間訓練コース						
	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	「情報通信機器整備奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	幼児・児童の英会話教室講師、学習塾教師					
訓練科名	こども英語講師養成科(eラーニングA)								
募集期間(予定)	令和7年1月31日 ~ 令和7年2月20日								
選考日(予定)	令和7年3月3日								
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接	<input type="checkbox"/> 筆記試験	<input type="checkbox"/> その他 ()						
選考結果通知日	令和7年3月10日								
訓練期間	令和7年3月25日 ~ 令和7年9月22日 (6 か月)			(訓練日数 182 日)					
訓練時間				訓練定員	25 名				
訓練対象者の条件	①育児・介護中の者。②居住地域に訓練実施機関がない者。③在職中の者等、訓練の受講に当たり特に配慮を必要とする者。 ・英検準2級程度の英語力のある者。・自宅にパソコン等の情報通信機器を備え、通信費の負担ができる者。・キーボード入力が行え、Zoomで面接が受けられる者。								
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業者	<input type="checkbox"/> ニート等の若者	<input type="checkbox"/> 障害者	<input type="checkbox"/> 母子家庭の母等					
	<input type="checkbox"/> 被災者	<input type="checkbox"/> 外国人	<input type="checkbox"/> その他 ()						
訓練目標 (仕上がり像)	幼児・児童の英会話教室や学習塾において、カリキュラム作成、教材選定、教授法や教授技術を活用しながら、英語指導ができる。								
訓練修了後に取得 できる資格	名称 ()	認定機関 ()	任意受験						
	名称 ()	認定機関 ()	任意受験						
	名称 ()	認定機関 ()	任意受験						
	名称 ()	認定機関 ()	任意受験						
	名称 ()	認定機関 ()	任意受験						
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
訓練概要	こども英語講師に必要な英語指導法、英語4技能指導力、音声面の知識と実践、異文化理解の知識、こどもへの接し方、教室運営を習得する。【eラーニングコース・オンライン対応コース】								
訓練内容	科目		科目の内容		訓練時間				
	学 科	開講式・オリエンテーション、修了式	開講式・オリエンテーション(1.5h)、修了式(1h)						
		英語指導の知識基礎	英語を教える基礎知識、英語で英語を教える方法、フィードバックの仕方、安全衛生		21時間				
		英語指導の知識実践	ネイティブ講師による教授法、会話指導法		22時間				
		こども英語講師の仕事	こども英語講師の仕事、講師に必要な資質、こども英語講師としての振る舞い		21時間				
		小学校英語基礎	小学校での英語指導の基本ルール、中学で習う英語とのつながり、教える人の資格や登録、授業の時間と構造、学校教諭と英語専門家との協力方法		21時間				
		国際理解基礎	異文化理解コミュニケーション、海外外国語教育事情、世界文化・歴史の知識		21時間				
		英語クラス運営知識基礎	教室運営の知識、クラス管理、保護者対応		21時間				
	英語クラス運営知識実践	英語クラスに必要な国内外の行事、イベント企画、子ども向け英語の資格試験のメリット・デメリット、CEFRIについて		21時間					
	実 技	発音指導法基礎	英語のアクセント・イントネーションの発音指導法、英語音感・リスニング力指導法、フォニックス指導法		21時間				
		ゲームその他非言語コミュニケーション指導演習基礎	アイスブレイクのためのゲーム・歌の活用・ノンバーバルコミュニケーション活用		21時間				
		発音指導法実践	スペルの読み方ガイド指導法、英語音感指導法、ディクテーション指導法		21時間				
		教案作成指導演習基礎	教案作成・授業の運び方、フラッシュカード作成と活用法(使用ソフト: Canva free)		21時間				
		教案作成指導演習実践	英語4技能の指導法「聞く(リスニング)」「話す(スピーキング)」「読む(リーディング)」「書く(ライティング)」を基にレッスンプラン作成(使用ソフト: Canva free)		21時間				
		外国語習得におけるAI翻訳の活用演習	AI翻訳の特徴と使い方の把握、外国語学習における活用法、世界の一次情報の探し方、AIチャットツールの活用法		21時間				
		アクティブラーニング演習	反転授業とアクティブラーニングの効果的な実施方法、心理的安全性を加味した教案改善、講師マインドセット		22時間				
		模擬授業実習基礎	ネイティブ講師による模擬授業サンプルの研究、より良いレッスンプランを創る工夫、1回目30分~50分の模擬授業、教案改善(使用ソフト: Canva free)		21時間				
		ファシリテーション演習	教育現場におけるファシリテーション、経験学習サイクル、グループダイナミクスからの学び、学習コミュニティ		21時間				
		英語指導演習基礎	クラスルームイングリッシュ、ダイアログ活用指導法		21時間				
		発音指導法応用	チャンツ、イントネーション、シャドーイング、プレゼン、スピーチ指導法		21時間				
		絵本指導演習	著作権、オリジナル絵本作成、インタラクティブな絵本の読み方		21時間				
		英語指導演習実践	Presentation - Practice - Production Cycle指導法、会話指導法		21時間				
		ゲームその他非言語コミュニケーション指導演習実践	第二外国語習得のための全身反応教授法(TPR)、キッズイベントのゲーム&アクティビティ研究		21時間				
		英語指導演習応用	文法指導法、文法学習アクティビティ研究、はじめてのABC読み方、書き方指導		21時間				
		模擬授業実習実践	2回目30~50分の模擬授業、教案改善、オフライン&オンラインレッスンの工夫、こども園英語レッスン授業研究(使用ソフト: Canva free)		21時間				
		英語指導演習発展	参加型メディアを活用したクラスおよび教室の活性化、英語教育におけるイベントやワークショップなどの広報活動		21時間				
	企業実習	<input checked="" type="checkbox"/> 実施しない	<input type="checkbox"/> 実施する						
職場見学、職場体験、職業人講話	<input type="checkbox"/> 【職業人講話】	「安心安全の場とは」2時間、「自立と協力の教育バランス」2時間、「英語講師としてのゴール」2時間		6時間					
訓練時間総合計	512時間	学科	148時間	実技	358時間	企業実習	0時間	職場見学等	6時間
(うち通所訓練時間計)	0時間	※うち数は通所訓練を含むeラーニングコースに限り記載							
受講者の負担する費用	教科書代	16,500円							
	その他 ()	0円				合計		16,500円	
	備考 (通信費実費)								
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する		<input checked="" type="checkbox"/>	eラーニングコース				
		オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)		<input checked="" type="checkbox"/>	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)		オンライン計	32時間	
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	受講者が直観的に操作できる世界中で使用されているLMSシステムを導入した。							
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	一週間毎の習得度確認テストで習得度を確認し、その結果に基づき担当講師が対面指導でアドバイスする。								